

生涯スポーツコンベンション2009〈人・スポーツ・未来〉参加

- (1) 実施月日、場所：平成21.2/4（水）東京・京王プラザホテル
- (2) 参加者：石井啓, 坂本, 小祝, 土田 計4名
- (3) 内容：二宮清純（スポーツジャーナリスト） 栗山英樹（スポーツキャスター・白鷗大学教授）対談から



- ・失われた世代間、地域のキズナをを取り戻せるのはスポーツである。
（フランスにおける3世代混合チームのラグビー試合を見て一いちちゃん、孫へのタックル、パスは相手を思いあつたプレー）
 - ・クラブの役目はガキ大将を中心とした遊び場ができる環境づくり
 - ・キャッチボールほどいいものはない。親子のキズナ、相手の痛みを感じる思いやりの心を育む無言のコミュニケーション手段。
 - ・子どもの介護保険登場！ 子どもの足幅は年々狭くなっている。このまま推移すると100年後には、子どもはたてなくなる。
 - ・指導のコツ！ 長所を伸ばせば短所は消える。短所を消しても長所は伸びない。
- (4) 感想：二宮,栗山さんのお話は、私達クラブの理念と全く同じであったことに驚きを覚え、緒についたばかりの活動を盛り上げるべく意を強く持たねばと改めて感じりました。